

第76回「ハートミーティング」意見交換の内容について 中京区役所「なかなかプロジェクト」

★市長からのコメント

○ 中京区役所では、研修の実施や共有スペースの改修など多くのことを創造的にやってくれている。これを更に発展させていってほしい。

○ 組織は、一人ひとりの職員の力が大切。それぞれ個人の職員力が集まって大きな力になる。プロジェクトチームで経験し、力を得て、自分の職場に持ち帰り活かしてほしい。また、異動している人は、異動先で力を活かし、他の局区等にも影響を与えてほしい。

○ 大切なのは、いかに地域の人を力を活かすかということ。「現場に神宿る」であり、主人公である地域の人を知恵をくみ取って活かしたら多くのことが成し遂げられる。市民力を活かせるのが職員力だと思う。市民が事業を見ているだけではなく参加していく「参観から参画へ」率先して頑張ってもらいたい。

○ プロジェクトチームが他の職員を巻き込んで動くことは困難を伴うが、2割の職員が熱心に動けば、全体が動くようになる。なかなかプロジェクトのメンバーが中京区役所職員を変えるきっかけとなり、29年度も熱く、中京区全体を引っ張っていただきたい。

★参加メンバーからの主な声

○ プロジェクトの活動を他の職員に広めていくことが課題とお話しした際、仕組みをつくるのが大事であり、それを定着させることが成功のカギだというお話をいただいたのが、とても参考になった。自分の担当業務においても同じことが言えるので、今後は是非その仕組みづくりに目線を向けていきたい。

○ 地域の方々を主人公として、地域力を活かす視点が大事であることなどのお話を伺ったことが、特に印象に残った。区民の方の主体的なまちづくりを応援するため、市長からお話いただいた「参観から参画へ」を推進していきたい。

○ 「色々な研修に取り組んでいて、大変いいことだ、こんな研修を自分も受けてみたい」と言っていたことで、自分たちの活動は間違っていなかったな、と思った。

○ 市民対応では、相手の話に傾聴すること、そこから相手の意図を読み取って返答することを、これまでの経験からお話しいただき、今後の対応に生かしていきたい。

○ 2割の人が主体的に動くようになると、その波及効果によって、全体が動くようになる。2割の人を目標に、活動を広げてみるはどうかとのアドバイスをいただいた。こうした市長のお話は、私のプロジェクトへの意欲を喚起し、今年度の活動に向かって励ましをいただいたと思った。